



# 朝一小だより

活気あふれ、心が躍り、みんなが幸せになる学校

TEL048-461-0052 <http://www.asakadailshou.city-asaka.ed.jp/>

学校教育目標

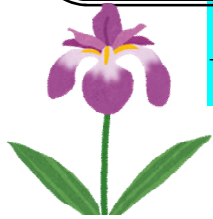
- ・考える子
- ・やさしい子
- ・たくましい子



朝霞市立朝霞第一小学校

令和8年5月1日

児童数 600名



子供達一人一人の幸せと健やかな成長のために

校長 小林美加



青葉若葉のさわやかな季節となりました。新年度が始まって1カ月が経ち、子供達は新しい学年・クラスに少しずつ慣れ、元気に学校生活を送っています。先日は、ご多用の中、懇談会にお越しいただきありがとうございました。各クラスでご挨拶をさせていただきましたが、保護者の皆様温かく迎えてくださり、嬉しく思いました。今後も、子供達一人一人の幸せと健やかな成長という学校・家庭共通の目的の実現に向けて、連絡を取り合いながら、相互に理解を深めていくことができるように、教職員一同、努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

先月17日には、体育館で「1年生を迎える会」を開催しました。それぞれの学年が1年生を歓迎しようと短い期間で準備・練習を進めてくれました。2年生は「できるようになったこと」3年生は「給食」4年生は「学校のルール」5年生は「掃除」6年生は「学校行事」とテーマを決め、1年生がわかりやすく楽しい内容を工夫して発表してくれました。1年生も大きな声で「さんぽ」を歌って、お礼の気持ちを表してくれました。それぞれの出し物では歓声や拍手が何度も起こり、音楽が流れると、自然と温かな手拍子が送られました。一小のみんなの心が一つになり、幸せな気持ちになりました。今後も、このような児童会活動を通して、自主性や主体性を伸ばしながら、達成感や感動を味わってほしいと思います。

さて、アメリカの家庭教育学者であるドロシー・ロー・ノルト博士の「子供が育つ魔法の言葉」という本の中で、「子供は、親やまわりの大人が生きている姿そのものから学ぶ」という考えがあり、「子は親の鏡」という詩の中には、「けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる」「とげとげした家庭で育つと、子どもは、乱暴になる」「励ましてあげれば、子どもは、自信をもつようになる」「誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ」「認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる」「やさしく、思いやりをもって育てれば、子どもは、やさしい子に育つ」という言葉があります。これは、決して「親や大人は完璧でなければならない」という意味ではなく、むしろ、日々悩みながらも、子供を大切に思い、前向きに関わろうとする大人の姿そのものが、子供にとって何よりの学びになる、というメッセージだと感じています。学校においても同じです。教職員も、言葉で指導する以前に、子供達にどのような姿を見せているのかを、常に問い続けながら日々を大切に過ごしたいと考えています。子供達は、家庭と学校という二つの大切な場所で成長しています。どちらか一方だけで支えるのではなく、「一緒に子供達を育てていこう」という気持ちを、私達大人が共有することができたとき、子供達は安心して、自分らしく力を伸ばしていけると思います。これからも子供達のすばらしさ、個性をどのように伸ばすか、家庭と学校と地域とが手を取り合って、一人一人のよりよい成長のために、共に歩んでいきたいと思っています。ご家庭でもご協力のほどよろしくお願いいたします。【引用：子どもが育つ魔法の言葉（著者：ドロシー・ロー・ノルト／レイチャル・ハリス、石井千春訳）PHP研究所】

いよいよ、楽しみにしていたゴールデンウィークを迎えます。頑張っていた子供達にも疲れが見られます。楽しい計画もあるかと思いますが、心と体をしっかり休めるとともに、交通事故やけが、体調に気をつけてお過ごしください。5月も子供達の活躍を期待しています。